

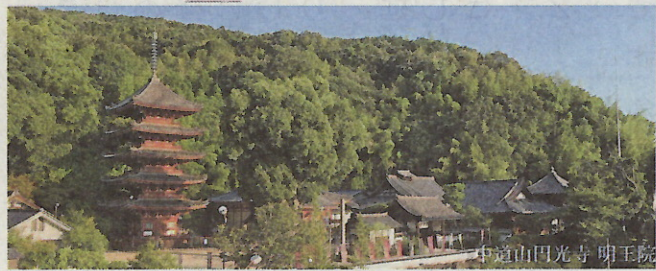
光学区(福山)見える化

HP開設、地域情報発信 まちづくり推進委

福山市立光小(草戸町)の学区のイベントやさまざまなお知らせを発信するホームページが開設された。デジタル化で地域の動きを住民に「見える化」するため、町内会など学区の住民団体が構成する「光学区まちづくり推進委員会」が立ち上げた。

ホームページは10月から本格的に運用を開始し、ほぼ毎日のように「お役立ち情報」をアップ。道路工事による通学路の変更を地図付きで視覚的に分かりやすく紹介したり、光学区周辺のハザードマップの見方を学ぶ防災訓練の開催を告知したり、頻繁に更新する。

町内会の名前をクリックすると、全ての会ではないものの、より身近な情報を入力できる。毒を持った害虫が街路樹に発生し

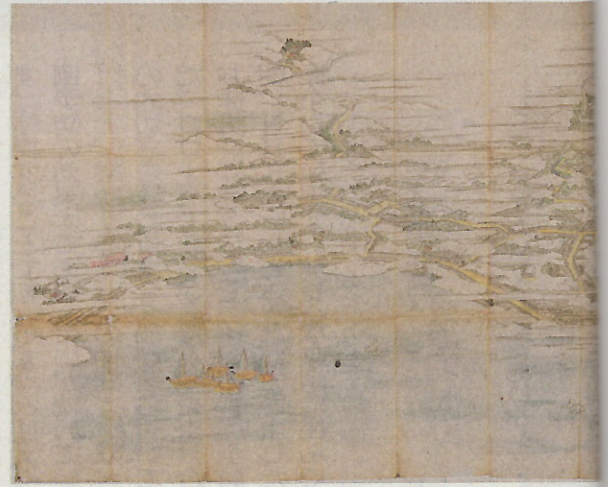


新着情報	各種情報
2022.11.09 行事予定を掲載しました	お知らせ
2022.11.05 光学区まちづくり推進委員会(HP)のお知らせ	お知らせ(福山新聞掲載)
2022.11.05 福山新聞に掲載されました	お知らせ
2022.11.04 福山新聞(福山新聞)に掲載しました	

地元の名所・明王院の写真を載せている光学区まちづくり推進委員会が開設したホームページ

今後の無料通信アプリLINE(ライン)を活用し、災害時の避難情報や祭りなど行事の急な日程変更を住民に一斉配信することを考えている。光学区まちづくり推進委員会の花谷忠厚委員長(67)は「ホームページは自ら主体的にアクセスしないと情報が得られないが、LINEの長所はアクセスがなくても、住民に緊急情報を『プッシュ型』で次々、タイムリーに届けられる」と話す。

ホームページの運営に関するルールも策定した。まちづくり推進委員長らでつくる運営委員会が、掲載内容が適切か、プライバシーを侵害していないかなどを判断する仕組みを整えている。(民直弘)



県立歴史博物館所蔵の江戸之図

江戸之図

政大(東京)が所蔵する27年版と見比べるなどし10月までに確認した。

久下主任学芸員は、江戸之図について「江戸の町並みの変化に応じ、更新していくための参照元リストを残していたのでは」とする。あつぎ郷土博物館(神奈川県厚木市)に残る別の鳥瞰図を屏風に仕立てた「江戸図屏風」の基にならっている可能性も指摘し、「鳥瞰図の参照元を探る新たな研究の端緒になれば」と話している。

江戸之図は、福山市出身で元メリルリンチ日本証券会長の守屋寿さんが昨年10月に寄贈した1350点の一つ。同館の企画展「京・江戸・長崎く近世・海の旅と憧れのまち」で展示されている。

スマホ決済2 来月から福山 消費喚起へキャ

福山市は新型コロナウイルスウィルスの影響で低迷する消費の喚起のため、スマートフォン決済で最大20%のポイン

マイナカード

国税庁
長官 府中

2020年9月、同月12日、今年1月中旬のり最大2実施に続く第3弾。これまで決済事業者はを拡大し

会員企業の従業員にマイナンバーカード取得を促進させた功績が評価され、府中法人会(約1400社)へ18日、国税庁長官からの感謝状が贈られた。

永田寛幸・広島国税局長がデニムメーカー・カイハラ(福山市新市町常)で同会の貝原潤司会長(同社副会長)に感謝状を手渡した。貝原会長は「マイナンバーカードは、これからのデジタル社会で必須になる。自治体などと良い連携ができた」と話した。

同会は新型コロナウイルス禍の中、昨年10月から府中税務署管内の府中、福山市、神石高原町の職員に会員企

業の事業をしてもらい、カードの発行を行った。計29回、1000人の重